

して、事業の達成度や成果について検証し、プロジェクトを進めていくことが求められております。この検証に際して、外部有識者などで構成される検証機関において客観的に評価することになっており、当町においても先月26日に、委員13名を検証委員に委嘱し、検証委員会を開催したところであります。

今回、検証の対象となりました事業は、平成27年度に実施した「木の駅ふじさと事業」と「Reデザイン想い再生事業」の2事業であり、委員会で協議していただきましたところ、いくつか改善点の指摘はあったものの、総合戦略の達成には「有効であった」と評価をいただき、いずれも今後も事業を継続していく方向で意見をいただいたところであります。

### ◆地域おこし協力隊について

今年度は5月にコミュニティ誌の誌面デザインナー1名、8月に、主に中通地区で地域活動を展開する隊員を1名委嘱し、現在3名の隊員が活動しております。10月には北部地区で地域活動を展開する隊員が配属となる予定になっております。なお、今後の地域おこし協力隊の募集につきましては、11月末に情報発信分野の隊員が自己都合により退任の予定になっていることから、同じ分野の隊員1名を募集し、現在、選考途中であります。

また、町の特産品でもある白神ラム、

白神山地ワイン事業の担い手となる「大野岱放牧場のめん羊飼育スタッフ」、「白神山地ワイン用のぶどう栽培スタッフ」について、昨年からは町内へ募集要項の配付や町のホームページなどで何度も募集を行ってきたところですが、なかなか応募者がなく、苦慮しているところでありました。今後は、地域おこし協力隊としてスタッフの募集を行い、全国に向けて発信し、担い手となる人材を確保したいと考えております。今月中には、募集を開始したいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ◆新ALITの着任について

外国青年招致事業でありますALITとして従事していただきましたチェン先生につきましては、平成23年8月から今年7月まで5年間の長きに渡り、当町の小中学生に生きた英語の指導にご尽力いただきました。また、地域の伝統、文化にも興味を持たれ、率先して駒踊りや素波里貉、ミニバスケット指導などにも参加され、町に溶け込んでいただきましたチェン先生には、先般開催いたしました有志による歓送迎会において、心から感謝申し上げます。

そして、8月より、チェン先生の後任として、カーン・アロン先生が来町し、現在、業務に携わっております。新任のカーン先生は、アメリカ国籍で、東ミシ

ガン大学の出身であり、在学中は、日本文化に触れようと滋賀県の彦根市に3か月ほど滞在した経歴を持ち、また、剣道部にも所属するなど、大変親日家と聞いております。

チェン先生同様、カーン先生にも、藤里町を「第二のふるさと」と思えるくらい、地域住民との関係を密にしながら、生徒指導に従事していただければと期待しております。

### ◆黒石橋補修工事について

黒石橋補修工事は、昨年度で完成予定でありましたが、橋梁文承部のコンクリートの著しい劣化により、工事内容の変更を余儀なくされ、越年してまいりました。

今年度分の工事は、4月21日に工事請負契約を締結し、工事を進めてまいりました。天候にも恵まれたことから、工事は順調に進捗し、8月12日から土・日は祝日に交通開放できるようになりました。

白神山地観光に多大な影響を与える結果となってしまう本工事ではありますが、今後発注する工事において、同様の事案とならないように、細心の注意を払った設計、工事施工をして参ります。

### ◆秋田県市町村振興協会の職員海外研修事業について

今年度の秋田県市町村振興協会主催の

職員海外研修事業視察団の団長として、県内市長会から、湯沢市の齊藤光喜市長、町村会から私が参加することになりました。今年の研修内容については、ニュージーランドのマヌカウやオークランドで、

地方自治、財政制度、観光対策を、オーストラリアのシドニーで、農業政策を研修することになっております。研修期間は10月16日から23日までとなっております。この期間は私が不在となるため、地方自治法第152条第1項の規定により、佐々木副町長が職務代理者となりますのでご報告申し上げます。

### ◆亡くなられた町民からの一般寄附金について

向真名子地区に住んでおられました柴田えち子氏は、昨年9月、病に倒れ、闘病生活を送ってまいりましたが、本年5月31日、61歳の若さで他界されました。両親も既に亡くなっており、兄弟、姉妹もおらず、親類で身元引受人になられる方が誰もいないことなどから、町でお世話しておりました。

お世話していた当初の預貯金は660万円ほどあり、能代市社会福祉協議会の権利擁護制度を活用し、入院代の支払いや必要な物資を購入して対応してきたところがあります。

しかし、状況次第では預貯金がまったく利用できなくなることが懸念されてい